

平成30年度 新冠町の予算

平成30年度の新冠町の予算が決まりました。平成30年度の一般会計予算総額は49億9600万円となっており、前年度当初予算に対し2億5200万円増額しております。

歳入予算では、自主財源であります町税については、個人住民税、法人住民税ともに増収を見込んでおり、町民税は前年度当初予算対比11・7%の増、町税全体では7・1%の増となっております。

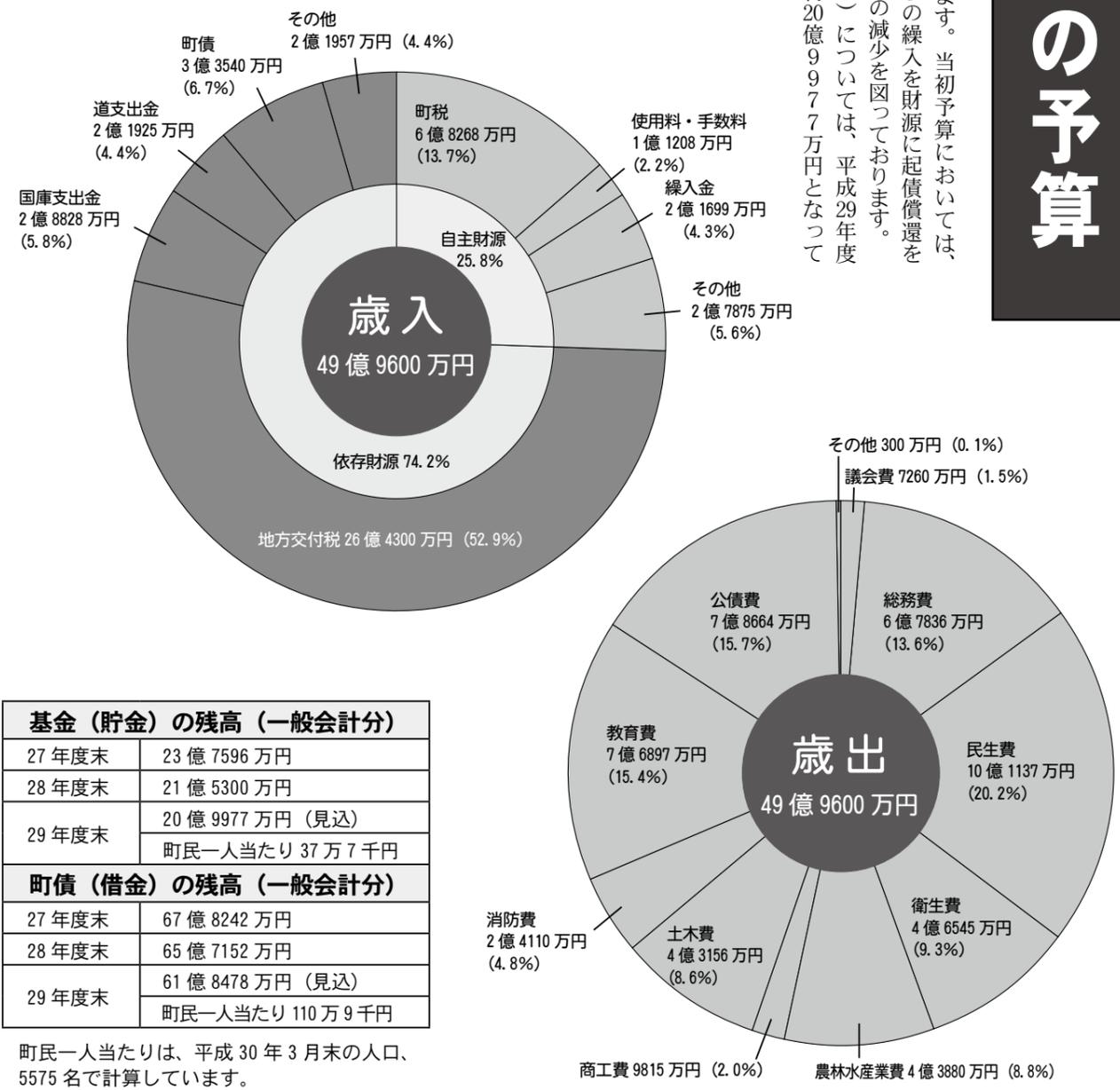
また、歳入予算で、最も大きな割合を占める地方交付税のうち普通交付税については、地方財政計画で減額が示されたことや近年の交付実績を考慮し、前年度当初予算対比1・5%減の23億9300万円を見込んでおります。

歳出予算では、新規事業として児童生徒の健やかな成長を後押しするとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を目的とした学校給食費の無料化事業を予算化し、加えて、次世代を担う子どもの誕生を祝い、まちの活性化と子どもの健全な発育に資することを目的とした子ども誕生祝金給付事業を実施し、子育て施策の充実を図っております。

町債（借金）の残高は、平成29年度末の見込で約61億8478万円、平成30年度末の見込では約57億7890万円と

なっております。当初予算においては、減債基金からの繰入を財源に起債償還を行い起債残高の減少を図っております。基金（貯金）については、平成29年度末の見込で約20億9977万円となっております。

一般会計項目別内訳



町民一人当たりは、平成30年3月末の人口、5575名で計算しています。

平成30年度各会計予算総括表

会計名	今年度予算額	前年度予算額	前年度比増減率
一般会計	49億9600万円	47億4400万円	5.3%
簡易水道事業特別会計	2億2076万円	2億874万円	5.8%
下水道事業特別会計	2億3139万円	2億3795万円	△2.8%
国民健康保険特別会計	7億8262万円	9億2105万円	△15.0%
後期高齢者医療特別会計	7470万円	6823万円	9.5%
介護サービス特別会計	3億3501万円	2億9946万円	11.9%
国民健康保険診療所特別会計	2億8226万円	2億4779万円	13.9%
特別会計合計	19億2674万円	19億8322万円	△2.8%
総額（一般会計+特別会計）	69億2274万円	67億2722万円	2.9%

平成30年度の特徴ある事業

昨年5月に鳴海町長が就任し、思いやりと笑顔にあふれる町、そして自分達の子や孫が安心して住み続けられる町を目指すため、特色ある様々な事業がスタートしました。その事業の一部をご紹介します。

◆学校給食費の無料化

児童生徒の健やかな成長を後押しするとともに、子育て世帯の経済的負担を減らし、安心して子どもを産み、育てやすい環境づくりを支援することを目的に学校給食費を無料とします。
○対象者～新冠町立小・中学校に在学する児童生徒の保護者で新冠町に住所を有する方



◆高校生通学支援事業の実施

保護者の経済的負担軽減を図るとともに修学機会の確保を目的に、近隣高校へ通学する生徒に対して一部無料送迎バスの運行を行います。
○運行区間～静内駅から静内農業高等学校まで
○対象者～静内農業高等学校に通学している生徒で新冠町に住所を有する方



◆子ども誕生祝金の交付

次世代を担う子どもの出産を祝うとともに、子どもの健全な発育及び福祉の増進に資することを目的に子ども誕生祝金を交付します。
○対象者～出産日において新冠町内に住所を有し、出産した子どもを養育する父または母
○祝金額～子ども一人につき一律10万円



◆各種健康診査などの無料化

町民の健康の保持・増進を図ることを目的に、特定健康診査などの個人負担金を無料とします。
○対象となる健診（検診）
・特定健診
・胃がん検診
・肺がん検診
・大腸がん検診
・前立腺がん検診
・乳がん検診
・子宮頸がん検診
・ピロリ菌検査
・肝炎ウイルス検査



その他に『新エネルギー・省エネルギー導入助成（LED照明）』・『不妊、不育症治療費助成』・『節婦避難階段改修』・『外国語指導助手の増員』・『朝日小学校単式学級維持のための教員配置』などの事業も実施します。